

豊かな森林を未来にのこそう

もりのかぜ だ・よ・り

第35号

認定非営利活動法人 森林の風
会長瀧口邦夫/平成元年7月発行



2019年「まちのきこり人育成講座」今回は、15名の応募がありました!!

第35号
ラインナップ



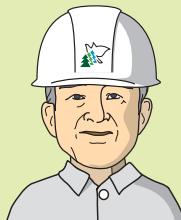
- ・挨拶「まちのきこり人育成講座を終えて」 ②
- ・2019年度 まちのきこり人育成講座レポート ②③④
- ・2018年度 レベルアップ研修レポート ⑤
- ・平成31年度(令和元年度) 事業計画 ⑥⑦
- ・レベルアップ研修のご案内 ⑧

森林施業 認定NPO法人



連絡先／〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088
菰野事業所／〒510-1251 三重県三重郡菰野町千草7045-82

<http://www.morinokaze.info> *詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。



まちのきこり人育成講座を終えて

認定NPO法人 森林の風 会長 瀧口邦夫

今年の「まちのきこり人育成講座」も無事終了しました。ご協力ありがとうございます。15名の参加者で森林に目を向ける方が多くなることが楽しみです。「レベルアップ講習会」や「フォローアップ勉強会」も予定したいと考えています。

近年は、寒い冬から春の声を聞いたらすぐに夏になっています。ことしも異常気象の再来の予感です。アスリートの祭典や年中イベント開催話題の中で、

森林環境は確実に悪化しています。今一度「森林環境保全」の原点に帰ることが大切です。共に汗をかき考えたいです。

また、林業事故や高齢者の交通事故が多発しています。共に法改正などの動きがありますが、家を出てから帰るまで事故無く旨いビールを飲みたいものです。安全のための気配りも宜しくお願いします。



“森でeこと LIXILの森”

パツツデフェンス内の状況、鹿害も無く順調に育っています。10年間の経過観察が重要かと考えています。見学に是非お越しください。



下大久保町の竹林整備

やっと竹林らしくなってきました。大型のチッパーを入れると？

報告!

Report

「2019まちのきこり人育成講座」レポート

今年の育成講座の参加者は15名の申込をいただきました。今年も昨年と同様、3日の講座を外部講師に依頼し実施しました。

(財源は、かんぽ生命保険寄付プログラムの援助を受けました。)

● 3月10日(日) 「基礎編」

基礎編では、外部講師として、現在、森林組合等で林業に携わっている中津氏、 笹原氏をお招きして、午前中、人工林、自然林等を歩きながら、意見交換を行いました。

午後からは、参加者それぞれの森に関する思いを、「アイディアソン」という手法を使って考えていただきました。そして発表では、いろいろな新しい発想が生まれ、楽しい時間になりました。





● 4月7日(日) 第1回「きこり体験」

森林の風の活動概要、森林の多面的機能、森林保全活動での注意事項、道具の使い方、正しい伐倒方法等を学習。特に林業では、身体の数倍の重さのある樹木を相手にする仕事なので、作業の安全確保については丁寧に講義しました。午後からは、枝打ち、ノコギリ間伐の実習を行い、汗を流しました。



● 4月14日(日) 第2回「森を測る」

施業地内に設置した約20点のエリアにてコンパス測量の実習を行いました。その後、10m四方の範囲にて標準地調査を行いました。午後は、まなびの森に戻り、調査したデータを基に、樹冠長率、形状比、相対幹距比等の林分を判断する指標を計算し、調査した林分について今後の間伐等について意見交換を行いました。



● 4月21日(日) 第3回「チェーンソーに触れる」

チェーンソーの取扱いに対して、安全な作業のためにどのような安全が確保されているのかという防護構造から、チェーンソーの内部構造、操作要領などを説明し、実際にエンジンを始動させ、上伐り・下伐り・Vカットなどの実技を体験してもらいました。特に、ブレーキ操作については、常にオン・オフを繰り返し確認するように注意しました。午後からは、刃物の取扱い、ソーチェーンの目立てについて講義、実習を行い、最後に分解掃除を行って終了しました。



● 5月12日(日) 第4回「チェーンソーで伐る①」

この日は、昨年同様レベルアップ研修でお馴染みの、森造り舎の川島氏をお招きして、チェーンソー間伐実習①を行いました。今年は年度当初より重大事故が発生しており、最初に安全な作業のための注意事項を丁寧に講義していただきました。その後、間伐実習を行い、前回の復習から各自2本程度の立木を伐採しました。



● 5月19日(日) 第5回「チェーンソーで伐る②」

前回の実習を踏まえ、正確に決めた抜倒方向に倒すことを意識して間伐実習を行いました。また、掛木になる可能性を考え、ロープをかけ、フェリングバー・プラロックなどを使用し、安全に伐倒することを念頭に実習を行いました。写真は、ロープワークの実習です。林業での基本のもやい結びの特訓中です。木に結んだロープを、上まで上げる特訓。最初からはなかなかうまく上がりません。



● 5月26日(日) 第6回「チェーンソーで伐る③」

今回も、昨年同様お馴染み、黒滝村森林組合の梶谷氏を講師にお招きし、チェーンソー一間伐の締めくくりとして、やはり、事故事例のお話から始まり、思いも新たに伐倒方向の確認、正確な受け口、追い口の入れ方等をチェックしながら実習を行いました。

特に偏心木の抜倒をイメージしチルホールを使用した抜倒実習を行いました。

● 6月9日(日) 第7回「安全・衛生講習」

本講習の売りでもある、安全・衛生講習。今年も、三重大学附属病院、救急救命センター看護師の森川氏より、熱中症の予防と対処方法、危険な植物・生物への対処方法、アナフィラキシーショックへの対処方法等についての講義を行っていただきました。

午後からは、菰野消防署のご協力をいただき、普通救命講習を実施しました。AEDの使用方法、人形を使って胸部圧迫(心肺蘇生法)について実習を行いました。



今年度は、多くの申し込みをいただき、無事14名に修了証を発行することができました。来年も引き続き、まちのきこり人育成講座は開催いたします。詳しくは、秋ごろホームページ等でご案内いたします。

伐木作業等の安全対策の規制が変わりました！

—— 伐木作業等を行うすべての業種が対象 ——



厚生労働省は、伐木作業等における労働災害を防止するために、労働安全衛生規則の一部を改正し、伐木作業における安全対策を強化しました。

林業、土木工事業や造園工事業など、業種にかかわらず、伐木作業等を行うすべての業種が対象となります。



※今回の改正で、チェーンソーによる伐木等の業務に関する特別教育について、伐木の直径等で区分されていた特別教育を統合し、時間数を増やしました。
(安全衛生規則、安全衛生特別教育規定<昭和47年労働省告示92号>の改正。)

労働安全衛生規制の一部改正にともなう補講について

現在、各県の林業・木材製造業労働災害防止協会等で改訂内容についての補講が実地されています。森林の風においても終了証発行者に対して、補講を実施します。8月下旬を予定しています。きまり次第、改めてご案内いたします。

報告！ Report

2018まちのきこり人育成講座
レベルアップ研修レポート

■ 1月9日(日) 川尻先生

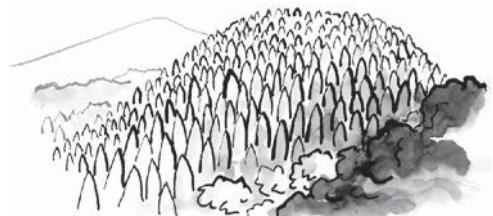
岐阜県立森林文化アカデミーの川尻秀樹学長にお願いして、レベルアップ研修を行いました。

午前中、雨天のため、広葉樹の森づくりについて多岐にわたってご講義いただきました。広葉樹の生態学的なことから、森造りに関する基礎的な知識から、専門的な内容まで詳しく、お話ししていただきました。

今までの針葉樹施業の常識を広葉樹に当てはめるのではなく新たな施業方法で臨まなければならぬという事を教えていただきました。

午後からは、雨も収まってきたので、菰野富士山麓の桜植樹エリアとふれあいの森を歩いていただき、いろいろなコメントをいただきました。特に、もし一般開放した場

合には、安全管理については特に注意を払う必要があり、枯損木等による落枝問題は十分注意喚起が必要であり、看板等にて表示する必要があるという事でした。



■ 2月16日(土)・17日(日) 梶谷氏・川島氏

今回も、常連の梶谷氏・川島氏をお呼びして、レベルアップ研修を行いました。今回は、両氏をコラボレートしての開催で新たな関係が築けました。

1日目は、午後からのスタートで、我々からの質問に答えていただく「フリートーキング」から始めました。

最初に事故事例についてお聞きしました。

今年度4人の死亡事故が報告されている。2件が伐倒時で、そのうち1件は、傾いた広葉樹の伐倒時に追い口がはじけて頭に直撃したもの。その他では、重機の転倒事故によるもの。この話の中で、追い口のはじけるのを防止するために追いづる切の説明をしていただき、偏心木の伐倒には、適しているとのことで、翌日の実習課題としました。



2日目は、前日お話のあった、「追いづる切り」を各自、実習しました。

その後、梶谷さんの提案で、場所の問題があり、受け口がまとめて作れないときの手法として「V字カット」を行いました。

平成31年3月24日(日)に平成31年度通常総会を開催しました。
議案につきまして平成31年度事業計画及び予算計画について満場一致で可決されました。

平成31年度 事業計画

認定NPO法人森林の風

1. 活動方針

- ①安全作業を第一に、「学び」、「考え」そして「実践する」姿勢をもって、森に優しい森林施業を進める。
- ②持続可能な組織にするため、会員の確保・育成に努めると共に、活動拠点の整備に努める。

2. 事業計画 ◎印は寄付金を充当する事業

事 業 名	事 業 計 画	会 員 延活動人数	受 益 者 延参加者数
1. 人工林総合施業			
◎ 向井 F 1	<ul style="list-style-type: none"> ●亀山市加太向井9.4ha(鈴鹿森林組合所有林)。2005年～本田技研(株)の協力により、間伐、歩道作り、定点観測、ホンダの森林保全活動の場所として活用してきたが、28年度をもつて本田技研(株)は撤退した。 ●29年度からは独自の管理林としたが、活用方法が見い出せていない。31年度は1～2回歩道整備を行う。 	10	0
エイチワンの森	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の森(株)エイチワン)。亀山市三寺町0.81ha(堤氏所有)。平成26年11月～31年10月。 ●新施業地として、平成30年11月より三寺町3.2ha(所有者数名)を整備開始した。その林内の笹刈、枝打ち、枯損木間伐など整備を進めると共に、年2回(5月、10月)の森林保全活動イベントを行う。 	70	120
三重県民の森	<ul style="list-style-type: none"> ●平成23年12月に①ヒノキの森及び生産の森の間伐②枯損木の処理③森林学校の開催について「三重県民の森管理に関する協定書」を締結。 ●枯損木の処理、雑木林の笹刈・除伐、年1回の間伐体験イベントの指導を行う。 	20	20
リクシルの森	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の森(株)リクシル)。伊賀市上阿波2.76(ヒノキ林2ha、植栽地0.76ha)。平成27年4月～32年3月。 ●ヒノキ林の間伐、枝打ち。植栽地0.76haの管理。年2回の森林保全活動イベント及びその準備を行う。また、鹿害対策テスト林(パッチデフェンス)として活用し、データ採取する。 	80	150
コメダの森	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の森(株)コメダ)。菰野町千草6ha(スギ、ヒノキ林)。平成29年10月～34年3月。 ●散策路整備、森林整備(主として間伐)、及び年2回の植樹イベント、森林学習教室とその準備を行う。 	120	100
私有林 森林施業	<ul style="list-style-type: none"> ●活動余力が生ずれば後日調整する。 	0	0
森林組合協同事業	<ul style="list-style-type: none"> ●森林組合からの要請に応じて対応する。 	0	0
2. 里山再生			
こもれびの森	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の森(NTN(株))、桑名市多度山4.5ha、第1期平成22年11月～27年3月でサクラ、モミジ1,000本植樹した。27年度から2期目(平成27年4月～32年3月)。 ●過年度植樹苗の保育、歩道の補修、間伐、年1回(3月)の森林保全活動イベントを行う。 	70	50
憩いの杜	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の森(TSテック(株))、桑名市茅ヶ崎2.9ha。第1期平成24年11月～29年3月。 ●第2期29年4月～34年3月。 ●年数回林内整理、歩道補修、年1回(11月)森林保全活動イベントを行う。 	60	100
TOYOTIRES 緑のつながり・三重	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の森(東洋ゴム工業(株))、東員町城山5.27ha、平成26年10月～31年9月 ●過年度整備済み林内の再整備(除伐とそれのチップ処理)、年1回の森林保全活動イベントを行う。 ●今年度9月で契約終了となるが、延長の予定である。 	70	80
ブレンディの森	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の森(AGF(株))。平成26年10月～31年9月。亀山市関町沓掛2.56haの雑木林に加え平成30年1月に10.66haの人工林を追加契約。さらに今後第2段階として12.5haの人工林の追加契約。 ●今年度から年5回の森林保全活動を3回に減少させ、1回当たりの参加人数を約40人から約100人に増員。 ●味の素AGFのお客様招待ツアーは、年2回が3回に増加予定。森林保全活動(歩道作り、間伐体験、沢沿い整備など)の準備を行う(沢沿いの歩道整備及び除伐等林内清掃)。 	160	380
ホンダの森	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の森(本田技研(株))、亀山市関町3ha(大滝県行造林地)、平成29年4月～34年3月。 ●年数回の林内整備、年4回のホンダと共同で生物多様性の調査と年2回の森林保全活動イベントを行う。 	80	80
アカガシの森再生	<ul style="list-style-type: none"> ●菰野町からの受託。平成28年度にパッチデフェンスを4基設置し、除伐、アカガシの植栽を行った。 ●歩道整備及びパッチデフェンス周辺の除伐、パッチデフェンス内の植生について定期的に経過観察を行う。 	30	0

JAバンクの森 菰野	●企業の森(三重県信用農業協同組合連合会)。菰野町千草1ha(千草財産管理組合)。平成29年11月～34年10月。 ●平成31年10月までにパッチデフェンス内の除草及びパッチデフェンス1基を増設しアカガシを植栽する。その後は下刈り等活動範囲の維持管理を行う。	30	0
ふれあいの森	●企業の森(ホンダロジスティックス株)。菰野町千草2ha(千草財産管理組合)。平成30年3月～32年3月。 ●31年度も林内整備(間伐、除伐、歩道作り、チップ処理など)を行うと共に、年2回(6月、11月)の森林保全活動(歩道補修、植樹、間伐体験など)を行う。	100	100
私有林整備	●西山町0.41ha草刈、奥田園0.24ha管理、南条園0.12ha草刈、菰野富士植樹木の管理。	70	0
3. 竹林整備			
◎下大久保	●鈴鹿市下大久保町自治会所有1.70haの竹林について自治会と契約。第1期平成23年8月～29年8月を終え、第2期平成29年9月～35年8月の6年間を更新契約。 ●竹林の整備を行うと共に、竹ポット用材を確保する。	30	0
4. 森林施業基礎講習			
◎まちのきこり人育成講座	●基幹事業の1つで平成18年から始め30年度までに13回開催、186名が受講している。(31年度は10名受講予想) ●4～6月に7日間の日程で開催する。人材発掘のための講座(フィールド見学会等)を検討する。	60	80
◎レベルアップ研修(施業実技講習)	●会員等の知識・技術のレベルアップを目的に年5回程度開催する。半日のミニ勉強会も予定する。	100	20
出張まちのきこり人育成講座	●平成26年度から亀山市において開催しており、31年度も亀山市において2日間の講座を行う。	14	20
5. 森林活動体験研修会			
◎まなびの森	●菰野町江野0.4ha、平成21年活動開始、三重銀行協働。 ●年数回三重銀行と工作教室イベント、御在所植樹などを行う。 ●又、除草などのフィールド管理すると共に道具類整備、資機材・薪・苗木・キノコ類の保管、活動全般の準備作業の場として活用する。又、まなびの森整備計画に基づき、車両保管庫、丘展望台等の整備を順次進める。	100	50
◎御在所岳 GOGO植樹	●鈴鹿国定公園制定50周年を記念し5,500本の植樹を目指し、平成24年から始め平成30年度までに2,230本の植樹を行った。 ●平成30年に実施した鈴鹿国定公園指定50周年記念植樹の管理、三重銀行の植樹イベントを行う。 ●新レストラン『ナチュール』下斜面への植樹の依頼があり、検討する。	50	40
◎学校等 森林活動体験	●常盤西小学校1回(裏山整備及び授業)。桑竹会講習、桑名市森林教室、三重県関係研修会など。	60	350
◎ナラ枯れ研究	●28年度からの独自研究。三重県民の森において、ナラ枯れ再生研究調査のため、2基のパッチデフェンス内で木炭による土壤中性化、及び追跡調査を行っている。 ●引き続き、PH値や植生の調査を行う。	10	0
◎新たな技術の確立	●29年度に「植樹木の成長を促すための土壤分析」キットを購入整備した。第1ステップとして菰野富士周辺におけるサクラ、アカガシ、シャクナゲ等に対する植樹地の適性評価から始める。 ●ローンを購入により、30年度はリクシルの森、菰野富士周辺の整備進捗状況を空撮した。31年度も継続する。 ●30年度に精油装置を購入し、30年度に4種類の精油抽出を実施した。31年度は複数の樹木葉で実施予定である。	30	0
◎イベントの参加	●鈴鹿川海山交流会2回(5月、7月)	10	50
6. 間伐材の有効利用			
広葉樹の薪への加工・販売	●30m ³ 収納できる薪小屋と、22t薪割り機が配備されている。年15～20m ³ の薪を加工、販売する。 ●30年度は、2年物がほぼ販売済みで、薪の加工が間に合わない状況である。置き場を満杯にして販売に努める。	30	
QRコード樹木版	●林業家、製材業とタイアップし、広葉樹の有効活用として平成27年度から運用開始。運用拡大を図る。	10	
◎竹ポットによる育苗	●31年2月現在、シャクナゲ313本、ツツジ214本、モミジ92本、アカガシ76本、ミズナラ280本御在所苗700鉢、その他ツツジの挿し木、ミズナラの発芽前500本育苗している。 ●平成31年度も新たに御在所苗・ミズナラを中心に300鉢、種子採取、育苗する。	30	
7. 管理事業			
◎会報発行	●平成23年9月に第1号を発行し、平成30年度までに34号発行している。(30年度は3回発行) ●平成31年度も3回発行する。	20	
その他管理事業	●年2回総会、理事会、チーム打合せの開催他、書類作成・整理する。また、活動拠点(まなびの森)の整備を進める。	180	
		計 1,704	1,790

*参考:会員の延べ活動参加人数の実績
(過去5年間)

H26	H27	H28	H29	H30
1,560人	1,700人	1,445人	1,652人	1,549人

2019 まちのきこり人育成講座 レベルアップ研修 開催予定!



● 2019年9月1日(日)9時から15時 まなびの森にて開催

講師に、「国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所」研究企画科長(農学博士)の正木隆氏をお招きして、森林生態・森林土壤等についてわかりやすくご講義していただきます。正木先生の著書には「森林生態学」「森の芽生えの生態学」等があり、最近では「森林未来会議」にもご執筆されています。



● 2019年12月8日(日)9時から15時 まなびの森にて開催

講師に、「森と木の技術と文化研究所」代表の内田健一氏をお招きして、人工林施業における調査と計画等について実習を含めご講義していただきます。

内田先生は、2001年から岐阜県立森林文化アカデミー講師を務め、2009年に北海道黒松内町に移住し「森と木の技術と文化研究所」を設立されました。著書には「森を育てる技術」等があります。



● 2019年12月22日(日) 9時から15時 鈴鹿川源流探訪

今年も鈴鹿川をさかのぼります。今年は、本川をさかのぼり、高畠山の源流を目指します。

今年4月に「亀山市鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源を守り継ぐ条例」が制定されました。それを機に、森林の風も、源流をめざし、鈴鹿川の環境と歴史について考察したいと思います。乞うご期待。

年明けの1月、2月も開催します。

例年通り黒滝村森林組合の梶谷哲也様、伊那市の山造り舎の川島潤一様にも、新しい内容での講座をお願いしております。

森林の風～最新データ～

2019年6月30日現在

◆取組事業総数	31
◆活動フィールド人工林	7
里山整備	8
竹林	1
◆フィールド総数	約50ha

2019年度4月から6月累計

◆活動日数	47日
◆会員延べ参加数	471人
◆延べ受益者数	829人

設立来累計

◆植樹数	約11,100本
------	----------

森を守り育てる活動にご協力ください

年会費	個人 1口 3,000円 法人 1口10,000円より
特 典	年3回発行の機関紙「もりのかぜだより」や各種案内を送付させていただきます

加入社名：特定非営利法人 森林の風
郵便振込：00830-4-159060

* 通信欄に、おとこ・おなまえ・ご連絡先電話番号をご記入ください

寄付を募集!!



《2018年度》 寄付金一覧	・かんぽ生命保険.....1,000,000円 ・アプライドマテリアルジャパン(株).....400,000円 ・当会労金(不特定多数)65,400円 ・一般個人.....425,800円
	合 計 1,890,300円

*ご協力ありがとうございました